

モニタリング調査結果

種名：イチリンソウ

調査者：NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地：橋本

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ～2018年5月	開花数はAエリアで168個、Bエリアで23個。Aエリアではスゲ抜きに続き、川岸の枝を整理して明るくしたので、これまでで最高の開花数となった。Bエリアは林の中央部で大木の陰になるが、明るさを確保するために周囲を除伐し、開花数は増加中である。
2019年4月 ～2019年5月	開花数はAエリアで46個、Bエリアで17個。昨年は特別に開花数が多かったが、今年の計63個も例年より多い。ササ刈り、スゲ抜きでまわりを明るくしておく。
2020年4月 ～2020年5月	開花数はAエリアで105個、Bエリアで15個。Aエリアは川沿いで、日当たりの良い場所でまとまって開花した。スゲ抜きの効果と思われる。Bエリアは林内のため周囲の樹木が高木化して照度不足が進んでいる。周囲を除伐して照度確保に努める。
2021年4月 ～2021年5月	開花数はAエリアで105個、Bエリアで16個。Aエリアは去年と変わらず川岸の日当たりの良い所でたくさん開花した。スゲ・ササを丁寧に取り払った。
2022年4月 ～2022年5月	4月20日に開花数を数えた。Aエリアで28個、Bエリアで23個。Aエリアでは昨年は105個だったのに激減した。今年は乾燥と雨不足、それに寒い日が続きなかなか暖かくならなかったのが原因ではないかと考える。
2023年4月～ 2023年5月	4月10日に開花数を数えた。Aエリアで24個、Bエリアで13個。Aエリアは昨年に比べて微減。密集している箇所の花は少なく、群落の周辺や飛び地に多い。Bエリアは減少し2年前に近い数字。大きな個体が多い。
2024年4月～ 2024年5月	4月25日に開花数を数えた。A区で7本、B区で1本、C区で3本、計11本が全開花。 昨年の37個に比べて大幅にダウン。花は大きい。